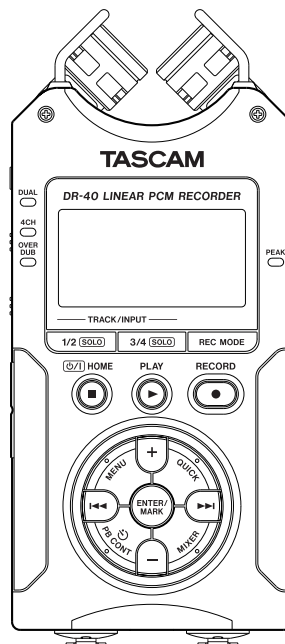


TASCAM

DR-40

Linear PCM Recorder

D01242001B












取扱説明書





取扱説明書

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。





	警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く	<p>万一、異常が起きたら煙が出たり、変なにおいや音がするときは機器の内部に異物や水などが入ったときはこの機器を落としたり、カバーを破損したときはすぐに機器本体の電源を切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>ACアダプターのコードを傷つけない ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）をご依頼ください。</p> <p>別売のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込み、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運航の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、離着陸時の使用は航空法により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。</p>







	警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 指示	<p>ACアダプターの電源プラグにほこりをためない ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 分解禁止	<p>この機器のカバーは絶対を外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>
	注意 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源をオフ（スタンバイ状態）にし、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 指示	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。また、モニター機器などを破損する原因となることがあります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、別売の専用ACアダプターや電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>

	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。 ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
	濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気が多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

電池の取り扱いについて

本機は、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告 乾電池に関する警告
	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。
	警告 電池に関する警告
	電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

	警告 電池に関する警告
	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。 炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。
	注意 電池に関する注意
	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。
	注意 保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。 使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

目次

安全にお使いいただくために	2
電池の取り扱いについて	3
はじめに	5
リファレンスマニュアルについて	5
本製品の構成	5
商標および著作権に関して	5
設置上の注意	6
結露について	6
製品のお手入れ	6
ユーザー登録について	6
アフターサービス	6
各部の名称	7
トップパネル	7
フロントパネル	7
左サイドパネル	7
右サイドパネル	8
ボトムパネル	8
ホーム画面	8
準備	9
電源の準備	9
電源をオンにする	9
言語を選択する	10
内蔵時計の設定	10
電源をオフにする	10
モニター用機器を接続する	10
チルトフットを取り付ける	10
基本的な操作方法	10
メニュー構成	11
録音	11
録音画面	11
録音待機状態について	12
録音メニュー構成	12
手動で入力レベルを調節する	13

入力レベル制御機能を使う	13
録音待機状態について	13
録音する	13
低域カットフィルターを設定する	13
再生	14
再生コントロール画面	14
再生メニュー構成	14
再生する	14
再生の音量を調節する	14
再生するファイルを選択する (スキップ)	14
クイック操作	15
QUICKボタンの概要	15
パソコンと接続する	15
パソコンとUSB接続する	15
パソコンへファイルを取り出す、 パソコンからファイルを取り込む	15
パソコンとの接続を解除する	15
各種設定および情報表示	15
内蔵スピーカーをオフにする	15
環境設定 (システム設定)	15
こんなことをするには	16
メッセージ	20
トラブルシューティング	22
仕様	24
定格	24
入出力	24
オーディオ性能	24
録音時間	25
一般	25

はじめに

このたびは、TASCAM DR-40をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

リファレンスマニュアルについて

取扱説明書（本書）では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

梱装箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、タスカムカスタマーサポート（巻末に記載）までご連絡ください。

- | | |
|-----------------------|----|
| ● 本体 | x1 |
| ● SDメモリーカード（本体差し込み済み） | x1 |
| ● 単3形アルカリ乾電池 | x3 |
| ● USBケーブル | x1 |
| ● チルトフット | x1 |
| ● 取扱説明書（本書、保証書付き） | x1 |

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 動作保証温度は、摂氏0度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質劣化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
 - 直接雨などの水が当たる場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させるとテレビ画面に色むらが出る、またはラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<https://tascam.jp/jp/login>

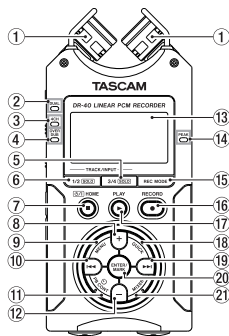
アフターサービス

- この製品には、裏表紙が保証書になっています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はご購入日日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無償修理規定によりティアック修理センターが修理いたします。

- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記録内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
 - 型名、型番（DR-40）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

各部の名称

トップパネル



① 内蔵ステレオマイク

エレクトレットコンデンサタイプの指向性ステレオマイクです。

② DUALインジケーター

デュアル録音モードで録音中に、オレンジ色に点灯します。

③ 4CHインジケーター

4CH録音モードで録音中に、オレンジ色に点灯します。

④ OVER DUBインジケーター

オーバーダブ録音モードで録音中に、オレンジ色に点灯します。

⑤ 3/4 [SOLO] ボタン

⑥ 1/2 [SOLO] ボタン

⑦ 0/I (HOME) [■] ボタン

⑧ +ボタン

⑨ MENUボタン

⑩ ◀◀ ボタン

⑪ PB CONTボタン

⑫ -ボタン

⑬ ディスプレー

⑭ PEAKインジケーター

⑮ REC MODEボタン

⑯ RECORD [●] ボタン / RECインジケーター

停止中に押すと録音待機状態になり、RECインジケーターが点滅します。

⑰ PLAY [▶] ボタン

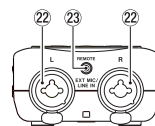
⑱ QUICKボタン

⑲ ▶▶ ボタン

⑳ ENTER/MARKボタン

㉑ MIXERボタン

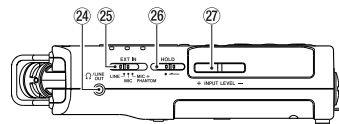
フロントパネル



㉒ EXT MIC/LINE IN L / R端子 (XLR / TRS)

㉓ REMOTE端子 (φ2.5mm TRSジャック)

左サイドパネル



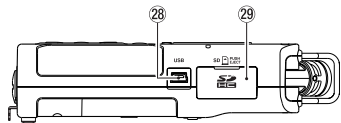
㉔ Ω / LINE OUT端子

㉕ EXT INスイッチ

㉖ HOLDスイッチ

㉗ INPUT LEVEL (+ / -) ボタン

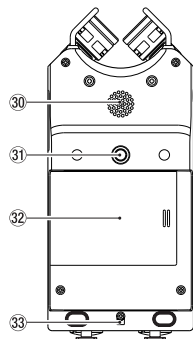
右サイドパネル



28 USB端子

29 SDカードスロット

ボトムパネル



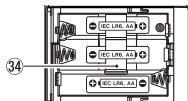
30 内蔵モノラルスピーカー

31 三脚またはチルトフット取り付け用穴
(1 / 4インチ)

32 電池ケース蓋

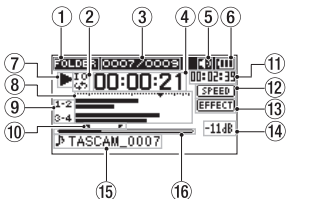
33 ストラップホルダー

34 電池ケース



ホーム画面

停止中に表示される最も標準的な画面です。



① 再生範囲表示

現在の再生ファイルの範囲を表示します。

ALL : MUSICフォルダー内の全ファイル
 FOLDER : 選択したフォルダー内の全ファイル
 PLAYLIST : 再生リストに登録されたファイル

② ループ再生/リピート再生の設定状態表示

♫ : シングル再生
 ♪ : 1ファイルリピート再生
 ♫♫ : 全再生ファイルリピート再生
 ♪♫ : ループ再生

③ カレント再生ファイル番号/総ファイル数

再生対象範囲の総ファイル数と現在のファイル番号を表示します。

④ 経過時間表示

現在のファイルの経過時間(時:分:秒)を表示します。

⑤ スピーカー出力表示

🔊 アイコン表示あり: スピーカー出力オン
 🚫 アイコン表示なし: スピーカー出力オフ

⑥ 電源供給の状態表示

電池供給時は、電池アイコンを表示します。電池残量に応じて、目盛りが表示されます(🔋、🔋、🔋)。

目盛り表示がなくなると🔋が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフ(スタンバイ状態)になります。

別売の専用ACアダプター(TASCAM PS-P520E)使用時およびUSBバスパワー供給時は、🔌を表示します。

⑦ レコーダーの状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
■	停止中
⏸	一時停止中
▶	再生中
⏩	早送り中
⏪	早戻し中
▶▶	次のファイルの先頭にスキップ
◀◀	現在または手前のファイルの先頭にスキップ

⑧ レベルメーター

入力音または再生音のレベルを表示します。オーバーダブ・ミックスモード時は、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。

⑨トラック状態表示

各録音モードにより表示するアイコンが変わります。

表示例	内容
	モノラルモードまたはステレオモードで録音された再生ファイルを再生時
	デュアルモノラルモードまたはデュアルステレオモードで録音された再生ファイルを再生時、またはモニター時
	4CHモードで録音された再生ファイルを再生時、またはモニター時
	オーバーダブ・セパレートモード時
	オーバーダブ・ミックスモード時

⑩ ループ再生のIN点（始点）、OUT点（終点）の設定状況

ループ再生のIN点／OUT点の設定状況を表示します。

IN点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に アイコンが表示されます。OUT点を設定すると、再生位置表示バー上の該当位置に アイコンが表示されます。

⑪ 残量時間表示

現在のファイルの残量時間（時：分：秒）を表示します。

⑫ 再生速度の状態表示

再生速度の設定を表示します。

アイコン	再生速度
	1倍
	1.1 ~ 1.5倍
	0.5 ~ 0.9倍
	再生スピードの変更ができないとき

⑬ エフェクターのオン／オフ状況表示

エフェクターの状態をアイコン表示します。

: 内蔵エフェクターオフ

: 内蔵エフェクターオン

⑭ ピーク値のデシベル（dB）表示

一定時間ごとに再生レベルの最大値を、デシベル表示します。

⑮ ファイル名表示

再生中のファイル名を表示します。ID3タグ情報を持つMP3ファイルの場合は、ID3タグ情報が優先して表示されます。4CH録音モード、デュアル録音モード、オーバーダブ・セパレートモードで録音された複数ファイルの場合は、プロジェクト名を表示します。

⑯ 再生位置表示

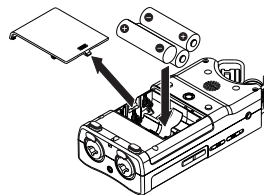
現在の再生位置をバー表示します。

準備

電源の準備

単3形電池で使用する

1. 本機のリアパネルの電池ケース蓋を取り外します。
2. 電池ケース内の と の表示に合わせて、単3形電池を3本セットします。
3. 電池ケース蓋を取り付けます。



- 電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別を正しく行うために、システム設定メニューの **電池タイプ** 項目で、使用する電池の種類を設定してください。（初期値：ALKAL アルカリ乾電池）。

電源をオンにする

電源がオフ（スタンバイ状態）時に、 / **I** (HOME) [] ボタンを押し続け、TASCAM DR-40（起動画面）が表示されたら離します。本機が起動してホーム画面が表示されます。

言語を選択する

お買い上げ後、はじめて電源をオンにしたとき、メニューやメッセージに使用する言語を設定する言語選択画面が表示されます。



1. +/−ボタンを使ってカーソルを移動し、言語を選択します。

選択肢

ENGLISH	: 英語で表示
日本語	: 日本語で表示
Français	: フランス語で表示
Español	: スペイン語で表示
Deutsch	: ドイツ語で表示
Italiano	: イタリア語で表示
Русский	: ロシア語で表示
中文	: 中国語で表示

2. 選択が完了したら、ENTER/MARKボタンを押して確定します。

メモ

システム設定画面の言語項目でも、再設定できます。(→ 16ページ「こんなことをするには」)

内蔵時計の設定

初回電源投入時(および電池がない状態であれば)置くため内蔵時計がリセットされたときには、日時を設定する日時設定画面が表示されます。



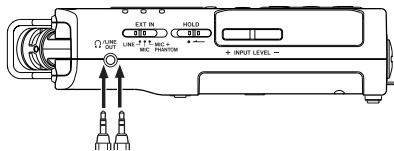
◀▶ボタンと+/-ボタンで日時を設定し、ENTER/MARKボタンを押して確定します。

電源をオフにする

電源オン時に、**⏻/I (HOME) [■]** ボタンを押す続け、LINEAR PCM RECORDER と表示されたら離します。シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。

モニター用機器を接続する

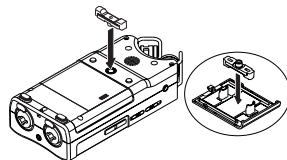
ヘッドホンで聴く場合は、PHONES端子にヘッドホンを接続してください。外部モニターシステム(パワードモニタースピーカーなど)で聴く場合は、LINE OUT端子に外部モニターシステムを接続してください。



チルトフットを取り付ける

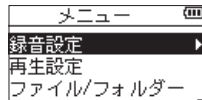
内蔵マイクで録音を行う際、電池ケース蓋側を下側にして置くとマイク側が低くなってしまいます。付属のチルトフットを三脚取り付け用穴に取り付けて、マイク側が低くならない状態にすることができます。使用しないときは、電池ケース蓋の内側に出ている2つの突起の間に挟

むように収納し、携帯することができます。



基本的な操作方法

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示します。



2. +/−ボタンを使ってメニュー項目を選択(反転表示)し、ENTER/MARKボタンを押すと各種設定画面に移動します。
3. +/−ボタンを使って設定する項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。
4. ▶▶ボタンまたはENTER/MARKボタンを押すと、設定内容にカーソルが移動(右に移動)します。
5. +/−ボタンを使って、設定を変更します。
6. 同じメニュー内で別の項目を設定する場合は、◀▶ボタンを押します(左に移動)。
7. 必要に応じて、手順3.~6.を繰り返し、各項目を設定します。
8. 設定が終了したら、**⏻/I (HOME) [■]** ボタンを押して、ホーム画面に戻ってください。

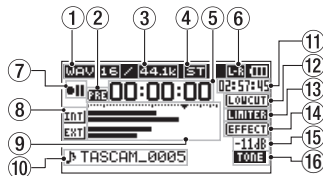
メニュー構成

メニュー

録音設定	録音の設定
再生設定	再生の設定
ファイル/フォルダー	SDカード内のファイル、フォルダーの操作
スピーカー設定	内蔵スピーカーのオン/オフの設定
その他	サブメニューを表示
インフォメーション	情報表示
チューナー	チューナーの設定
エフェクト	エフェクターの設定
ファイル名設定	ファイル名設定
日時設定	日時設定
	別売のフットスイッチ、またはワイヤードリモコンの設定
リモート設定	
システム設定	環境設定

録音

録音画面



① 録音フォーマット表示

録音ファイルのフォーマットを表示します。

WAV16 / WAV24 / BWF16 / BWF24 / MP3
320k / MP3 256k / MP3 192k / MP3 128k
/ MP3 96k / MP3 64k / MP3 32k

② プリレック機能またはオートレック機能の設定状態表示

プリレック機能が **オン** かつ録音待機中は、**PRE** アイコンが表示されます。オートレック機能が **オン** かつ録音中は、**AUTO** アイコンが表示されます。

③ 録音サンプリング周波数表示

録音ファイルのサンプリング周波数を表示します。

44.1k / 48k / 96k

④ 録音チャンネル数表示

録音ファイルのチャンネル数を表示します。

ST / MONO

⑤ 録音経過時間

録音ファイルの経過時間（時：分：秒）を表示します。

⑥ 内蔵ステレオマイクの左右設定表示

内蔵ステレオマイクの左右設定が、マイクの角度設定と合っていないときに、現在の左右設定状態を表示します。

アイコン	マイク角度	MIC設定
	閉 (X-Y)	L-R
	開 (A-B)	R-L

⑦ レコーダー動作状態表示

レコーダーの動作状況をアイコン表示します。

表示	内容
	録音待機中または録音一時停止中
	録音中

⑧ 入力ソース表示

入力しているソースをアイコン表示します。

表示例	内容
	内蔵マイクが入力ソースに設定
	EXT MIC/LINE IN端子が入力ソースに設定
	デュアル録音時のデュアル側が入力ソースに設定 (-6 ~ -12)
	オーバーダブ・セパレートモード時、1/2チャンネルが再生ファイルとなっていることを表示します。

表示例	内容
1-4 INT	オーバーダブ・ミックスモード時、再生ファイルと内蔵マイクがミックスされ入力ソースに設定
1-4 EXT	オーバーダブ・ミックスモード時、再生ファイルとEXT MIC/LINE IN端子がミックスされ入力ソースに設定

⑨ レベルメーター

入力音のレベルを表示します。オーバーダブ・ミックスモード録音中は、入力音と再生音をミックスしたレベルを表示します。目盛りには、-12dBの位置に入力レベル調整時の目印となる▼マークがあります。

⑩ ファイル名表示

録音するファイルに自動的に付けられるファイル名を表示します。4CH録音モード、デュアル録音モード、オーバーダブ・セパレートモードで録音された複数ファイルの場合は、プロジェクト名を表示します。

⑪ 録音残時間

設定した最大ファイルサイズに対する残時間(時:分:秒)を表示します。ただし、SDカードの残り時間の方が少ない場合はそちらを表示します。

⑫ 低域カットフィルターオン/オフ状態表示

低域カットフィルターのオン/オフ状態を表示します。40Hz、80Hz または 120Hz 設定時にアイコンを反転表示します。

LOWCUT : 低域カットフィルターオフ

LOWCUT : 低域カットフィルターオン

⑬ 入力レベル制御機能状態表示

OFF : 入力レベル制御機能オフ

PEAK : ピーク検出機能オン

AUTO : 自動レベル調整機能オン

LIMITER : リミッター機能オン

⑭ エフェクターのオン/オフ状況表示

EFFECT : 内蔵エフェクターオフ

EFFECT : 内蔵エフェクターオン

⑮ ピーク値のデシベル (dB) 表示

入力レベルのピーク値をデシベル表示します。

⑯ スレートトーン機能の設定状態表示

スレートトーン機能のオン状態をアイコン表示します。

表示なし: スレートトーンオフ

TRONE : スレートトーンオン

録音待機状態について

本機は業務用録音機と同じように録音待機状態があります。この状態で入力レベル設定などを行い、そのあと録音動作に移るようになっていきます。

録音待機状態では、RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。

録音メニュー構成

録音設定

録音形式	ファイル形式設定 BWF: 16bit / 24bit WAV: 16bit / 24bit MP3: 32 ~ 320k bps サンプリング周波数設定
サンプル	44.1k, 48k, 96k (96kはWAVのみ)
自動分割	自動でファイルを分割する時間の設定 オフ, 5分, 10分, 15分, 30分, 60分
低域カット	低域カットフィルターの設定 オフ, 40Hz, 80Hz, 120Hz
プリレック	プリレック機能の設定 オン, オフ
オートレック	オートレック機能の設定 モード: オフ, 新ファイル, マーク 開始レベル: -6dB, -12dB, -24dB, -48dB
スレートトーン	スレートトーン機能の設定 オフ, 録音開始時, 開始+終了
トーン秒数	スレートトーンの長さの設定 0.5秒, 1秒, 2秒, 3秒
トーン音量	スレートトーンの音量調節 -12dB, -18dB, -24dB, -30dB, -36dB

手動で入力レベルを調節する

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。
2. INPUT LEVEL + / - ボタンを使って、入力レベルを調節します。入力レベル設定状態を表すメーターがディスプレイの下部に表示されます。

録音する音のレベルが歪み直前になると、ディスプレイの右にあるPEAKインジケーターが赤く点灯します。レベルメーターには、-12dBの位置に▼の目印が付いています。この目印を中心にレベルが変化し、かつPEAKインジケーターが赤く点灯しないように録音レベルを設定してください。

入力レベル制御機能を使う

マイク入力時のレベル制御機能を設定します。

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。
2. QUICKボタンを押し、クイックメニューを表示します。
3. 入力レベル制御 項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押すと設定画面が表示されます。
4. 任意の機能を選択し、ENTER/MARKボタンを押すと機能が有効になり、録音画面に戻ります。

ピーク検出

入力音が大きすぎたときに、録音レベルを適度なレベルまで自動で下げる機能です。録音レベルを上げたいときは、手動で行います。音量が上下すると聴きにくい、音楽録音に適しています。設定後にオフにしても、設定したレベルは保持されます。

自動レベル調整 (自動レベル)

入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節するため、会議録音などに適しています。このモードでは、手動で録音レベルを変更することはできません。

リミッター

突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。録音レベルを変化させたくない場合に適しています。

このモードでは、録音中でも手動で録音レベルを変更することができます。

録音待機状態について

本機は業務用録音機と同じように録音待機状態があります。この状態で入力レベル設定などを行い、そのあと録音動作に移るようになっていきます。

録音待機状態では、RECインジケーターが点滅し、録音画面が表示されます。

録音する

1. RECORD [●] ボタンを押して、録音待機状態にします。



2. 再度RECORD [●] ボタンを押すと、録音が始まります。
3. 録音を終了するには、○/| (HOME) [■] ボタンを押します。

録音が始まるとRECインジケーターが点灯し、ディスプレイには、録音経過時間および録音残時間が表示されます。

録音の一時停止

同じファイルのまま、録音を一時停止することができます。

1. 録音中に、RECORD [●] ボタンを押します。
2. 再度RECORD [●] ボタンを押すと録音を再開します。

低域カットフィルターを設定する

低域の雑音などをカットしたい場合は、低域カットフィルターを設定します。空調ノイズや耳障りな風切音などを低減することができます。

1. メニュー → 録音設定 メニュー項目を選択し、ENTER/MARKボタンを押します。
2. 録音設定 画面の 低域カット 項目を設定します。

設定値：オフ、40Hz、80Hz、120Hz

数字（周波数）が大きくなるほど、広い帯域の低音をカットできます。

再生

再生コントロール画面

停止中または再生中にPB CONTボタンを押すと、再生コントロール画面が表示されます。この画面では、録音はできません。また、◀◀ / ▶▶ ボタンは、IN点 / OUT点または先頭 / 末尾へスキップし、前または次のファイルへのスキップはできません。



① ループ再生の設定状態表示

ループ再生が有効なとき、♂ アイコンが表示されます。

② 再生速度表示

再生速度が標準再生速度の何倍かが表示されます。VSA機能 (Variable Speed Audition: 曲の音程を保ったまま再生速度を変えることができる機能) が有効であることを示す **再生スピード** が先頭に表示されます。

③ 使用ボタン表示

再生コントロール画面を表示中に使用するボタンと、その用途を表示します。

MENU : ループ再生のオン/オフを切り換えるのに使います。

ENTER : IN点、OUT点およびそれらのクリアに使います。

④ ループ再生のIN点 (始点)、OUT点 (終点) の設定状況

ループ再生のIN点 / OUT点の設定状況を表示します。

IN点を設定すると、再生位置表示バー上に アイコンが表示されます。

OUT点を設定すると、再生位置表示バー上に アイコンが表示されます。

⑤ 再生位置表示

現在の再生位置をバー表示します。

再生メニュー構成

再生設定

再生対象	再生範囲の設定 全ファイル、フォルダー、再生リスト
リピート	リピートモード設定 全曲再生、1曲再生、1曲繰返し、全曲繰返し
再生EQ	再生イコライザー設定 オフ、高域 ±、中域 ±、低域 ±
戻り再生	戻り再生設定 オフ、1秒 ~ 10秒、20秒、30秒

再生する

ホーム画面で停止中に▶ ボタンを押すと、再生を始めます。

一時停止する

ホーム画面で再生中に ⏸ / I (HOME) [■] ボタンを押すと、その位置で再生を停止します。

停止する

一時停止中に再度 ⏸ / I (HOME) [■] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻って停止します。

早戻し / 早送りをする (サーチ)

ホーム画面で◀◀ / ▶▶ ボタンを押し続けると、早戻し / 早送りサーチを行います。

再生の音量を調節する

ホーム画面表示中に+ / - ボタンを使って調節します。

再生するファイルを選択する (スキップ)

ホーム画面表示中 (停止中) に、◀◀ / ▶▶ ボタンを使って再生したいファイルを選択します。

ファイルの先頭で◀◀ ボタンを押すと1つ前のファイルの先頭にスキップします。

ホーム画面表示中 (再生中) に、▶▶ ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

クイック操作

QUICKボタンの概要

QUICKボタンは、状況に合わせて便利な機能を表示します。

表示画面	状態	動作内容
ホーム画面	停止中／一時停止中	削除、分割、出力音量補正機能、ミックスダウン機能を表示
	再生中	出力音量補正機能を表示
	録音待機中	入力レベル制御機能、内蔵ステレオマイクの左右設定を表示
再生コントロール画面		出力音量補正機能のみの画面を表示
ファイル/フォルダー画面、再生リスト画面		選択したファイル（またはフォルダー）を操作するポップアップメニューを表示
チューナー画面		—
メニュー画面、その他画面、各種設定画面		—

パソコンと接続する

本機のSDカードの中の音声ファイルを選択し、パソコンに取り出したり、パソコンの中の音声ファイルを本機に取り込んだりすることができます。

パソコンとUSB接続する

1. 本機をパソコンと付属のUSB ケーブルで接続します。電源がオフの場合は、オンにしてください。
2. **USBモード** 画面で **PC接続** を選択し、**ENTER/MARK** ボタンを押すと本機がパソコンに接続され、**USB 接続中** が表示されます。
3. **“コンピュータ”** を開くと、パソコンのディスプレイ上に、本機が **“DR-40”** というボリュームラベルの外部ドライブとして表示されます。

パソコンへファイルを取り出す、パソコンからファイルを取り込む

パソコンの **“コンピュータ”** を開いて、パソコンのディスプレイ上に表示される **“DR-40”** ドライブをクリックすると、**“MUSIC”** フォルダと **“UTILITY”** フォルダが表示されます。

パソコンへファイルを取り出す場合は、**“MUSIC”** フォルダを開き、パソコンに取り出したいファイルを任意の場所にドラッグ&ドロップします。

パソコンからファイルを取り込む場合は、パソコンの任意の音声ファイルを **“MUSIC”** フォルダにドラッグ&ドロップします

パソコンとの接続を解除する

パソコンから本機を正しい手順で切り離してから、USBケーブルを外します。シャットダウン処理が実行されたあとに、電源がオフになります。パソコン側での接続解除方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

各種設定および情報表示

内蔵スピーカーをオフにする

メニュー → **スピーカー設定** → **スピーカー項目をオフ** に設定します。

環境設定（システム設定）

本機を快適に使うためのさまざまな設定、初期化やSDカードの初期化などを行います。

1. メニュー → **その他** → **システム設定** メニュー項目を選択し、**ENTER/MARK** ボタンを押します。
2. 各機能の項目で、必要な設定を行います。

こんなことをするには

- ボタン名称は、MENUのように表記します。
- 「ホーム画面からMENUボタンを押して、録音設定メニューを選択しプリレック項目を選択する」という操作を「ホーム画面 → MENU → 録音設定 → プリレック」のように表記します。
- 複雑な操作の場合は、全部の操作は表記されていません。詳細な操作方法は、リファレンスマニュアルを参照してください。

分類	こんなことをしたい	機能名称	操作方法、使用するボタン／説明
基本操作	ホーム画面に戻る		HOME 操作に迷ったらホーム画面に戻ってください。
	録音する		ホーム画面 → RECORD → RECORD 設定した内容での録音を行います。
	再生する		ホーム画面 → PLAY 表示（選択）されているファイルを再生します。
	再生音量を調節する		ホーム画面 → + / - ヘッドホン、スピーカーなどの音量を調節します。
	再生するファイルを選択する		ホーム画面 → ◀◀ / ▶▶ ファイル数が多い場合は、ブラウズ機能を使うと便利です。
録音	録音フォーマットを変更する		ホーム画面 → MENU → 録音設定 → 録音形式 非圧縮(WAV形式)または圧縮(MP3形式)など、録音するファイル形式を指定します。
	低域カットフィルターを設定する	低域カットフィルター機能	ホーム画面 → MENU → 録音設定 → 低域カット 低音のノイズなどを排除する機能です。周波数を選択してください。
	入力レベルを手動で調節する		ホーム画面 → RECORD → INPUT LEVEL + / - メーターを見ながら振り切れないよう録音レベルを調節してください。
	入力レベルを自動で調節する	ピーク検出機能	ホーム画面 → RECORD → QUICK → 入力レベル制御 → ピーク検出 録音レベルオーバーとなったときに自動でレベルを下げる機能です。
	入力レベルを自動で調節する	自動レベル調整機能	ホーム画面 → RECORD → QUICK → 入力レベル制御 → 自動レベル調整 入力音の大きさに合わせて自動でレベルを調節する機能です。
	入力レベルを自動で調節する	リミッター機能	ホーム画面 → RECORD → QUICK → 入力レベル制御 → リミッター 録音レベルの変更はせず、大きい音だけ圧縮してレベルオーバーを防ぐ機能です。
	内蔵マイクと外部入力を同時に録音する		ホーム画面 → REC MODE → 録音モード → 4CH 本体マイクを1-2トラックに、外部入力を3-4トラックに録音します。
	ファントム電源を供給する		本体左側面 → EXT IN → MIC + PHANTOM コンデンサーマイクの使用に必要なファントム電源を供給できます。

分類	こんなことをしたい	機能名称	操作方法、使用するボタン／説明
録音	MSマイクに対応させる	MSデコード機能	ホーム画面 → REC MODE → MSデコード MSデコード機能を使うことができます。この機能はSTEREO / DUAL / 4CHモードで外部入力を選択されている時に有効です。
	低いレベルのバックアップ録音を同時に行う	デュアル録音機能	ホーム画面 → REC MODE → 録音モード → デュアル 録音レベルの異なるバックアップレコーディングを同時に行うことができます。
	入力音にリバーブをかけて録音する	リバーブエフェクト	ホーム画面 → MENU → その他 → エフェクト リバーブエフェクトが付加された音声を録音することができます。
録音補助	録音中に目印（マーク）を付ける	マーク機能	録音画面 → ENTER/MARK 再生時の目印となるマークをファイルに付ける機能です。
	録音中に手動でファイルを切り換える		録音画面 → ►► 曲の変わり目など、違うファイルに切り換えて録音継続したい場合に操作してください。
	自動ファイル切り換えの設定をする	自動分割機能	ホーム画面 → MENU → 録音設定 → 自動分割 一定時間ごとに自動的にファイルを切り換えて録音を継続します。
	録音開始の少し前から録音する	プリレック機能	ホーム画面 → MENU → 録音設定 → プリレック 録音待機状態から録音状態に移るのが遅れた場合に遅れを補完する機能です。
	セルフタイマーを使って録音する	セルフタイマー機能	ホーム画面 → RECORD → PB CONT 自分の演奏を録音する場合に便利なセルフタイマー機能です。
	入力レベルにあわせて自動的に録音を開始する	オートレック機能	ホーム画面 → MENU → 録音設定 → オートレック 入力音を感知すると自動的に録音を開始します。
再生補助	リピート再生の設定をする	リピート再生機能	ホーム画面 → MENU → 再生設定 → リピート 特定のファイルを繰り返し再生できる機能です。
	I-Oループ再生をする	I-Oループ再生機能	再生コントロール画面 → PB CONT → ENTER/MARK 1つのファイル内で特定の区間を繰り返し再生できる機能です。
	再生速度を変更する	再生スピード機能	再生コントロール画面 → PB CONT → + / - 速度を変更して再生する機能です。
	再生イコライザーを使う	再生EQ機能	ホーム画面 → MENU → 再生設定 → 再生EQ 再生音の高域、低域をそれぞれ増幅、減衰させて聴きやすくすることができる機能です。
	再生中に数秒前に戻り再生し直す	戻り再生機能	再生中 → PLAY 再生時に、少し前に戻って再生し直す機能です。
	戻り再生の設定を変更する	戻り再生機能	ホーム画面 → MENU → 再生設定 → 戻り再生 戻り再生機能でどの程度前に戻るかを設定できます。

分類	こんなことをしたい	機能名称	操作方法、使用するボタン／説明
再生補助	音量をそろえて再生する	出力音量補正機能	ホーム画面 → QUICK → 出力音量補正 再生時に、音の大きさに合わせて再生音量を変えて聴きやすくする機能です。
	再生範囲を選択する		ホーム画面 → MENU → 再生設定 → 再生対象 選択するファイルの範囲をフォルダーや再生リストから選ぶことができます。
その他	楽器のチューニングをする	クロマチックチューナー機能	ホーム画面 → MENU → その他 → チューナー ギターなどの楽器のチューニングができます。
	録音された音にリバーブをかけて再生する	リバーブエフェクト	ホーム画面 → MENU → その他 → エフェクト 録音ファイルには影響を与えずにリバーブエフェクトが付加された音を聴くことができます。
	4トラック録音された音の音量を調節する		ホーム画面 → MIXER トラックごとの音量を調整して聴くことができます。 ミックスダウン機能を用いてステレオにまとめることもできます。
	4トラック録音された音をステレオにまとめる	ミックスダウン機能	ホーム画面 → QUICK → ミックスダウン MIXERで調整された音量でステレオファイルを作成することができます。
	フットスイッチ・RC-3Fのペダル割り当てを変更する		ホーム画面 → MENU → その他 → リモート設定 用途に合わせてペダルの割り当てを変更できます。
	リモコン・RC-10を使って操作する		ホーム画面 → MENU → その他 → リモート設定 ワイヤードリモコンが使えるように設定します。
	スレートトーンを記録する	スレートトーン機能	ホーム画面 → MENU → 録音設定 → スレートトーン 録音開始時や録音終了時に自動的にトーンを挿入することができます。
ファイル操作	ファイルの情報を確認する		ホーム画面 → MENU → ファイル/フォルダー → + / - → QUICK → ファイル情報 録音された日付やファイルサイズなどを確認することができます。
	再生リストにファイルを追加する		ホーム画面 → MENU → ファイル/フォルダー → + / - → QUICK → リスト登録 特定のファイルを集めた再生リストを作ることができます。
	ファイルを削除する		ホーム画面 → MENU → ファイル/フォルダー → + / - → QUICK → ファイル消去 現在選択中のファイルを削除できます。(4CHモード時は2ファイルとも削除します。)
	ファイルを削除する		ホーム画面 → QUICK → ファイル消去 現在選択されているファイルを削除できます。

分類	こんなことをしたい	機能名称	操作方法、使用するボタン／説明
ファイル操作	フォルダー内のファイルを一括で削除する		ホーム画面 → MENU → ファイル／フォルダー → + / - → QUICK → フォルダー内消去 フォルダー内にある全てのファイルを一括で削除できます。
	ファイルを分割する	ファイル分割機能	ホーム画面 → QUICK → ファイル分割 1つのファイルを2つのファイルに分割する機能です。
	マークの場所でファイルを分割する	マーク分割機能	ホーム画面 → QUICK → マーク分割 マークの場所でファイルを自動分割します。曲の切り分けができます。
本体設定	表示言語を設定する		ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → 言語 ディスプレイに表示される言語を設定します。
	日時を設定する		ホーム画面 → MENU → その他 → 日時設定 ファイルに書き込まれる録音日付などに使われる内蔵時計を設定します。
	スピーカーをオフにする		ホーム画面 → MENU → スピーカー設定 → スピーカー → オフ 背面の内蔵スピーカーから音が出ないようにします。
	本体やSDカードの情報を確認する		ホーム画面 → MENU → その他 → インフォメーション 本体ファームウェアのバージョンや、SDカードの残り容量などを確認できます。
	電源の自動電源制御機能の設定を変更する	自動電源制御機能	ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → 自動電源制御 無操作時に自動で電源をオフにする機能です。
	バックライトの設定を変更する		ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → バックライト ディスプレイのバックライトに関する設定をします。
	ディスプレイのコントラスト調節を変更する		ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → 画面の濃さ ディスプレイの文字表示の濃さを設定します。
	電池の種類を設定する		ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → 電池タイプ 使用している電池の種類を選択します。残量表示の正確性に影響します。
	本体を初期設定に戻す	設定初期化機能	ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → 設定初期化 全ての設定を工場出荷時に戻します。
	SDカードを初期化する	SD初期化機能	ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → SD初期化 SDカードの初期化機能です。通常はSD初期化を使用してください。
	SDカードを完全初期化する	SD完全初期化機能	ホーム画面 → MENU → その他 → システム設定 → SD完全初期化 SDカードのデータを完全に削除したい場合のみ使用してください。
ファイル名の形式を設定する		ホーム画面 → MENU → その他 → ファイル名設定 自動で付与されるファイル名の文字を変更できます。	

メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
DR-40では、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表をご覧ください。

メッセージ	内容と対処方法
ファイル名が不正です (File Name ERR)	ファイル名の文字数が197文字以上の場合、ファイル分割ができません。パソコンと接続し、196文字以下のファイル名に変更してください。
同名ファイルがあります (Dup File Name)	ファイル分割により作成されるファイルと同じファイル名のファイルが同じフォルダー内にすでに存在します。ファイル分割を行うとファイル名の末尾に「a」または「b」が追加されます。ファイル分割を行う前にパソコンと接続し、ファイル名を変更してください。
ファイルが見つかりません (File Not Found)	再生リストに登録されているファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。
動作対象外ファイル (Non-Supported)	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、リファレンスマニュアルの「第11章 パソコンと接続する」をご覧ください。
電池残量がありません (Battery Empty)	電池の残量がありません。電池を交換してください。
間隔が短すぎます (I/O Too Short)	IN点(始点)とOUT点(終点)の間隔が短すぎます。1秒以上空けて設定してください。
再生リストのファイルがありません (File Not Found PLAYLIST)	再生リストに登録されているファイルが見つかりません。MUSICフォルダー内に対象のファイルがあるか確認してください。

メッセージ	内容と対処方法
再生リストがありません (No PLAYLIST)	再生リストにファイルが登録されていません。再生リストにファイルを登録するか、再生対象を「再生リスト」以外に設定してください。
再生リストがいっぱいです (PLAYLIST Full)	再生リストがいっぱいです。再生リストには、最大99ファイルまで登録可能です。
HBRエラー SDを初期化します (HBR Error Init CARD)	SDカードが正常に初期化されていないか、SDカードが壊れている可能性があります。SDカードを交換するか、このメッセージが表示されている状態でENTER/MARKボタンを押すと、初期化が実行されます。初期化が実行されるとSDカード内のデータは、全て消去されます。
フォーマットエラー SDを初期化します (Format Error Format CARD)	SDカードが正常に初期化されていないか、SDカードが壊れている可能性があります。このメッセージは、USB接続したパソコンで初期化した場合や初期化されていないSDカードを挿入した場合にも表示されます。SDカードの初期化は、必ずDR-40本体で行ってください。SDカードを交換するか、このメッセージが表示されている状態でENTER/MARKボタンを押すと、初期化が実行されます。初期化が実行されるとSDカード内のデータは、全て消去されます。
ファイルがありません システムを再構築します (File Not Found Make Sys File)	本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。このメッセージが表示されている状態でENTER/MARKボタンを押すと、システムファイルが作られます。

メッセージ	内容と対処方法
システムファイルエラー システムを再構築します (Invalid SysFile Make Sys File)	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。このメッセージが表示されている状態で ENTER/MARK ボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
SDカードエラー 交換してください (Invalid Card Change Card)	SDカードが正常でない可能性があります。SDカードを交換してください。
書き込み速度不足です (Write Timeout)	SDカードへの書き込みが間に合いませんでした。ファイルをパソコンへバックアップの上、 SD完全初期化 を実行してください。
カードがいっぱいです (Card Full)	SDカードの残容量がありません。不要なファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
分割できません (Can't Divide)	ファイル分割実行時に分割位置が適切ではありません。(曲の先頭、曲の最後)
録音時間の限界に到達 (Max File Size)	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。あるいは、フォルダーとファイルの総数が制限値(5000個)のときに録音時間が24時間を超えました。
ファイル総数限界に到達 (File Full)	フォルダーとファイルの総数が制限値(5000個)を超えました。不要なフォルダーやファイルを削除するかパソコンへ移動してください。
カードエラー (Card Error)	SDカードを正常に認識できません。SDカードを交換してください。
MP3非対応の機能です (Current File MP3)	MP3ファイルの分割はできません。
ファイルが保護されています (File Protected)	読み取り専用ファイルのため、削除できません。

メッセージ	内容と対処方法
カードがありません (No Card)	SDカードが無いため、録音できません。
再生できるファイルがありません (No PB File)	再生可能なファイルがありません。ファイルが壊れている可能性があります。
ファイルがありません (No MUSIC File)	再生ファイルが無いため、ファイル分割は実行できません。

その他のエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。

トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない。

- 電池が消耗していませんか？
- 電池の⊕、⊖を間違えてセットしていませんか？
- 別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520E）の電源プラグおよびUSBコネクタがしっかりと差し込まれていますか？
- USB/バスパワー接続しているときに、USBケーブルがしっかりと差し込まれていますか？
- USBバスパワー接続しているときに、USBハブを使用していませんか？
- HOLDスイッチがセットしていませんか？

電源が自動的に切れてしまう。

- 自動電源制御機能が設定されていませんか？（リファレンスマニュアルの「第12章 各種設定および情報表示」の「電源の自動電源制御機能の設定」）

本体で操作できない。

- HOLDスイッチがセットしていませんか？
- USB接続になっていませんか？

SDカードを認識しない。

- SDカードがしっかりと挿入されているか確認してください。

再生できない。

- WAVファイルの場合は、本機が対応しているサンプリング周波数であるかどうかを確認してください。
- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。

スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいませんか？
- **スピーカー設定** 画面の **スピーカー** 項目が **オフ** になっていませんか？
- モニターシステムは、きちんと接続されていますか？
- モニターシステムの音量が最小になっていませんか？
- 本機の出カレベル設定が最小になっていませんか？

録音できない。

- 接続をもう一度確認してください。
- 入力設定をもう一度確認してください。
- 録音レベルが低くなっていませんか？
- SDカード容量がいっぱいになっていませんか？
- ファイル数が最大数に達していませんか？

録音レベルが低い。

- 入力レベル設定が低くなっていませんか？
- 接続した外部機器の出カレベルが低くなっていませんか？

録音しようとする音が歪んで聴こえる。

- 入力レベルの設定が大きすぎませんか？
- エフェクターがかかっていますか？

再生音が不自然に聴こえる。

- 再生のスピードを変えていませんか？
- 再生イコライザーがかかっていますか？
- 出力音量補正機能が有効になっていませんか？
- エフェクターがかかっていますか？

ファイルが消去できない。

- パソコンで読み取り専用を設定したファイルをコピーしたものを消去しようとしていませんか？

パソコン上に本機のファイルが表示されない。

- 本機がUSB端子経由でパソコンに接続されていますか？
- USBハブを使っていませんか？
- 本機が録音中、または録音待機中になっていませんか？

言語を間違えて設定してしまった。

- **⏪ / I (HOME) [■]** ボタンを押して電源をオフにしたあと、**MENU** ボタンを押しながら **⏪ / I (HOME) [■]** ボタンを押してください。
言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

仕様

定格

記録メディア

- SDカード (64MB ~ 2GB)
- SDHCカード (4GB ~ 32GB)
- SDXCカード (48GB ~ 128GB)

録音再生フォーマット

- BWF : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
- WAV : 44.1k/48k/96kHz、16/24ビット
- MP3 : 44.1k/48kHz、
32k/64k/96k/128k/192k/256k/320kbps

チャンネル数

- 4チャンネル (ステレオ x2)

入出力

EXT MIC/LINE IN 端子(ファントム電源対応/XLRコネクターのみ)

- コネクター :
XLR-3-31 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
6.3mm (1/4") TRS標準ジャック
(Tip : HOT、Ring : COLD、Sleeve : GND)

🔊 /LINE OUT 端子

- コネクター : 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャック

内蔵スピーカー

- 0.3W (モノラル)

コントロール入出力定格

USB 端子

- コネクター : Mini-B タイプ
- フォーマット : USB2.0 HIGH SPEEDマストレージクラス

REMOTE端子

- コネクター : 2.5mm TRSジャック

オーディオ性能

周波数特性

- 20-20kHz +1/-3dB
(EXT IN to LINEOUT、Fs44.1kHz、JEITA)
- 20-22kHz +1/-3dB
(EXT IN to LINEOUT、Fs48kHz、JEITA)
- 20-40kHz +1/-3dB
(EXT IN to LINEOUT、Fs96kHz、JEITA)

歪率

- 0.05%以下
(EXT IN to LINE OUT、Fs44.1k/48k/96 k Hz、JEITA)

S/N 比

- 92dB以上
(EXT IN to LINE OUT、Fs44.1k/48k/96 k Hz、JEITA)

注) JEITA : JEITA CP-2150準拠

録音時間

ファイルフォーマット (録音時の設定)		容量
		4GB
WAV16ビット (STEREO)	44.1kHz	6時間44分
WAV24ビット (STEREO)	96kHz	2時間04分
MP3 (STEREO/MONO) 320kbps	44.1kHz 48kHz	29時間48分

- 上記録音時間は目安です。ご使用のSD / SDHC / SDXCカードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、SD / SDHC / SDXCカードに可能な録音合計時間です。

一般

電源

単3形電池3本 (アルカリ乾電池またはニッケル水素電池)
パソコンからのUSBバスパワー
専用ACアダプター (TASCAM PS-P520E、別売)

消費電力

1.7W (最大時)

消費電流

0.34A (最大時)

電池持続時間 (連続使用時)

● アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時

	フォーマット	持続時間	備考
録音時	2chWAV、44.1kHz、16ビット	約20.5時間 約2時間	内蔵ステレオマイク入力時 ファントム電源供給時
再生時	2chWAV、44.1kHz、16ビット	約21.5時間	ヘッドホン使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

● ニッケル水素電池 (eneloop) 使用時

	フォーマット	持続時間	備考
録音時	2chWAV、44.1kHz、16ビット	約17時間 約3時間	内蔵ステレオマイク入力時 ファントム電源供給時
再生時	2chWAV、44.1kHz、16ビット	約17.5時間	ヘッドホン使用時

録音時：JEITA録音時、再生時：JEITA音楽再生時

注意

電池持続時間 (連続動作時) は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。

外形寸法

70 x 155 x 35mm (幅 x 高さ x 奥行き、マイク閉状態時)
90 x 155 x 35mm (幅 x 高さ x 奥行き、マイク開状態時)

質量

285g / 213g (電池を含む / 電池を含まず)

動作温度

0 ~ 40℃

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外觀が予告なく変更することがあります。
- 詳細仕様はリファレンスマニュアルに掲載しています。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは
タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは
ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

リファレンスマニュアルに関して

取扱説明書(本書)では、本機の各機能について解説しています。各機能の詳細については、リファレンスマニュアルをご覧ください。

リファレンスマニュアルは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からダウンロードすることができます。

無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼に出来ない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) メンテナンス
 - (7) 本書の提示がない場合
 - (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

保証書

品名 および 形名	DR-40	
機番		
保証期間	本体	1年

お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前		
	ご住所		

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店			
〒	()		

見本

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501 / 04-2901-1033